

普及活動情勢報告（令和4年1月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

ハウス内の環境を見てみよう！ ～【はるかぜ便り】の配布～



「はるかぜ便り」を見ながら
説明している様子

JA 高知県春野営農経済センターと高知農業改良普及所では、11月から毎週月曜日に SAWACHI 利用農家（30 戸）に対し、ハウス内環境の見える化を目的に「はるかぜ便り」を配布しています。

各生産者とモデル農家のハウスの温度や湿度、炭酸ガス濃度の変化をグラフで示すことなどにより、初めて環境測定器を導入した生産者からも分かりやすいと評判です。生産者は、はるかぜ便りを参考に暖房機の使い方や天窓の開閉の仕方などの改善に取り組んでいます。

普及所は、今後も「はるかぜ便り」を継続して発行するとともに、環境制御技術のさらなる普及に向けて取り組んでいきます。

露地ショウガの安定生産に向けて ～生姜生産組合研修会～



2年ぶりの開催です

1月11日、JA 高知市生姜生産組合が研修会を開催し、組合員 41 名が参加しました。

普及所からは、土壌病害および貯蔵中ショウガの腐敗対策について報告しました。どちらの課題も生産者の関心は高く、「土壌還元処理資材の値段はいくらか。」「貯蔵中ショウガのアザ症状について試験をして欲しい。」などたくさんの声が挙がりました。

今後普及所は、生産組合・JA 等と連携し、課題解決に向けて生産安定に取り組んでいきます。

新規就農者の確保に向けて ～産地提案書 PR 動画の撮影～



ユリ収穫作業の撮影

1月17日、産地提案書を全国に PR するための動画撮影が JA 高知市長浜園芸部花卉部会と JA 高知県春野キュウリ部会で行われました。普及所は、日程調整や撮影動画の校正等を行い、完成後は Web 上で公開する予定です。若手生産者へのインタビューでは、「先輩農家や部会、JA 等に支えられており、今後も農業を続けて恩返しをしたい。」との思いも語られました。

普及所は、今後も継続して市や JA 等と共に、担い手の確保に取り組めます。

新規就農者の進捗状況を確認しました ～就農状況報告会を開催～



報告会での聞き取り

令和4年1月18～21日に、高知市新規就農者（次世代人材投資事業経営開始型活用者）26戸を対象に就農報告会を開催し、R3年7～12月分の日誌や就農状況について面談を行いました。新たな園芸年度の目標に対して進捗状況や現在の課題について、質問等が寄せられました。施設キュウリ新規就農者13戸（全員）については、「R4園芸年度12月末時点の収量目標を達成した」と順調な経過を報告する農家が多かったです。

引き続き、普及所は関係機関と連携しながら、新規就農者の経営安定につながる支援を継続していきます。